

タマハキモク

ヒバマタ目ホンダワラ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

Sargassum muticum (Yendo) Fensholt

選定理由

県内での分布は限られた場所だけ、それも低密度の生育状態と考えられが、本種が認識された1978年以降において、専門家による七尾湾や穴水湾などでの広範囲な調査はなされていない。

形態

付着器は平たい盤状で、その中央から短い本の茎をだす。その頂部から数本の主枝をらせん配列に生じる。

国内分布

北海道南部、本州中部から四国、九州。

県内分布

七尾市大田で採集されている。

生育地の条件

波当りの弱い、やや静かな場所に生育し、低潮線付近から水深1mくらいまでの浅いところ。

生存の危機

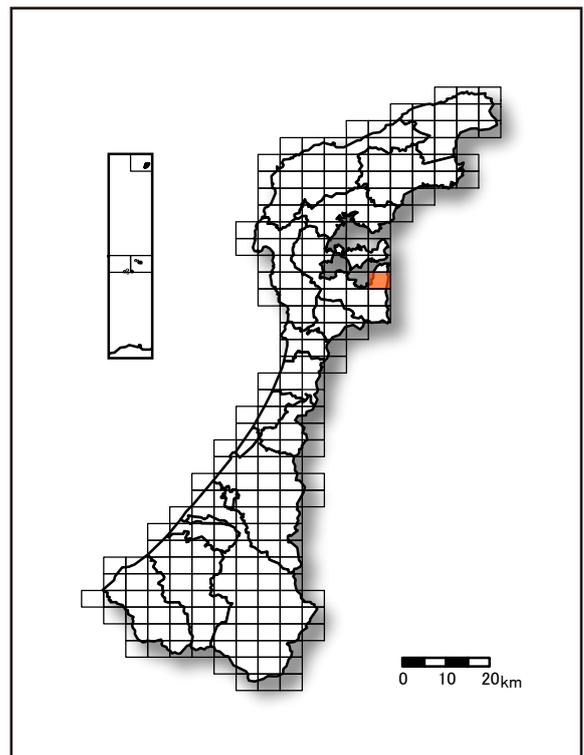
県内での生態が不明で言及できない。

特記事項

直立部はよく似ているが、付着器が小さな盤状で糸状根も出すミヤベモクはよく見られている。



写真提供者：新井章吾



県内の分布